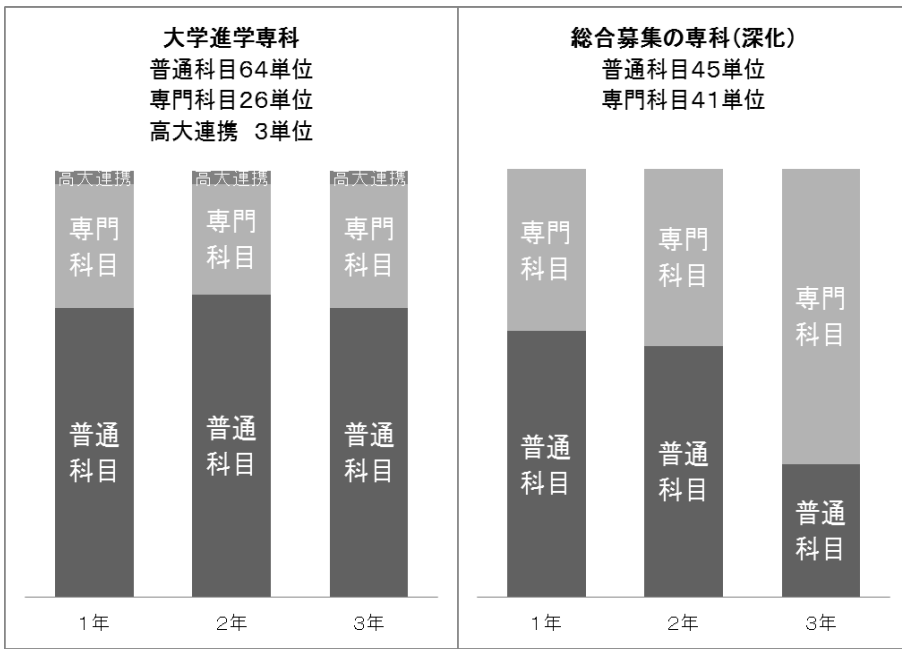


# 工科高校で普通科目を学ぶ意義

## 普通科目と専門科目

### 卒業までの取得単位数



▲大学進学専科では全履修科目の約7割が普通科目であり、総合募集の専科では学年が上がるにつれて専門科目が増え、より専門的に学んでいくが、それでも全履修科目の約5割が普通科目となっている。

## 特色ある今工での学び

大阪府下には府立の工科高校が全部で9校あり、11の専門系(コース)が用意されています。今宮工科高校は、そのうち5つの系を有しています。5系も設置している工科高校は府下では本校だけであり、生徒のやりたいことや希望の進路を実現するなど、多様なニーズに対応できるような幅広い選択肢を提示できるカリキュラムを用意しています。

このように、特色のある学びの場である今宮工科で、なぜ特色のない？普通科目の勉強をしなければならないのでしょうか。

### 教養を身に付ける

教養とは、個人が社会とかわり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身に付ける、ものの見方、考え方、価値観の総体(中教審答申・文部科学省)とされています。難しいので簡単に言い換えると、「いろんなものの見方や考え方が教養だということです。ここでいう「いろんな」には、自分の専門以外のものの見方や考え方も含まれています。つまり、工科高校の生徒が普通科目を学ぶのは、教養を身に付けるためだといえるのです。

### 教養は自分の器(うつわ)

いろんな見方や考え方ができるということは、自分と違う見方や考え方も受け入れることができるということです。こういう人は一般に、「器が大きい」と評価されます。つまり、器の大きい人はみんな、教養が深いのです。「受け入れる」と「学ぶ」は同義です。皆さんは難しいからといって、異なる考え方を拒否していませんか？それは、教養のない人の振舞いなのです。本校のカリキュラムには、専門の知識や技術を学びながら、器の大きな人物を育成したいという想いが込められているのです。

専門の知識や技術はお金になって、教養は生き方になります。

## 今後の予定

- 10月
- 29日 PTA役員会
- 11月
- 4日 文化祭準備40×6 (~11/10)
  - 11日 文化祭Ⅰ
  - 12日 文化祭Ⅱ
  - 14日 代休
  - 15日 大掃除40×4+50×2
  - 17日 系術鑑賞
  - 18日 計算技術検定
  - 22日 企業・大学見学
  - 26日 PTA役員会
  - 30日 後期自治会役員選挙  
専科(ME)説明会(保護者向)